



平成17年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社三栄コーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 水谷 裕之  
(JASDAQ・コード番号 8119)  
問合せ先 財 務 部 長 樋 口 功  
T E L (03) 3847-3500

### 平成18年3月期中間及び通期（連結及び単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年5月19日付当社「平成17年3月期決算短信（連結）」及び「平成17年3月期個別財務諸表の概要」にて発表しました平成18年3月期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の中間及び通期（連結及び単独）業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成18年3月期 連結中間業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	13,900	330	120
今回修正予想 (B)	14,005	397	116
増減額 (B-A)	105	67	△ 4
増減率	0.8%	20.3%	△ 3.3%
前期（平成17年3月期中間）実績	12,107	148	1

#### 2. 平成18年3月期 単独中間業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,300	110	60
今回修正予想 (B)	6,558	177	91
増減額 (B-A)	258	67	31
増減率	4.1%	60.9%	51.7%
前期（平成17年3月期中間）実績	5,970	166	40

3. 当中間期業績予想の修正理由

当中間期は、アジア拠点からの北米向け家庭用品の輸出が減少したものの、国内においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」、大手専門店チェーン向け家具及び家庭用品の売上が好調に推移しました。

その結果、連結及び単独の売上は当初予想を上回る見通しであり、これに伴い経常利益におきましても当初予想を上回る見込みです。

なお、連結中間業績予想の中間純利益につきましては、一部の連結子会社の税効果会計による繰延税金資産を取崩したことなどにより、当初予想を若干下回る見込みです。

4. 平成18年3月期 連結通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	30,000	850	400
今回修正予想（B）	30,000	850	370
増減額（B－A）	—	—	△ 30
増減率	—	—	△ 7.5%
前期（平成17年3月期）実績	25,926	443	134

5. 平成18年3月期 単独通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	14,000	580	290
今回修正予想（B）	14,000	580	300
増減額（B－A）	—	—	10
増減率	—	—	3.4%
前期（平成17年3月期）実績	13,409	623	190

6. 通期業績予想の修正理由

通期の業績予想（連結及び単独）につきましては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」、国内大手専門店チェーン向け家具及び家庭用品の売上が引き続き堅調に推移する見通しで、連結及び単独の売上高、経常利益は当初予想を達成する見込みです。

また、連結業績予想の当期純利益につきましては、一部の連結子会社の税効果会計による繰延税金資産を取崩したことなどにより、当初予想を30百万円程下方修正いたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上